

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより

白根飯野 桜梅桃李

【学校教育目標】

～郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども～

【9年間で目指す児童像】

～思いやり、創造力、すこやかな体をもち、

未来を担う 白根こまっ子～

令和7年5月19日 No4 文責 保坂 泉(校長)

待ちに待った修学旅行、いよいよです！



6年生がとても楽しみにしている修学旅行が5月21日（水）～23日（金）に東京・神奈川・千葉方面の予定で実施されます。6年生は、昨年度末から修学旅行に向けて、市文化財課の斎藤先生から南アルプス市と鎌倉との歴史的な繋がりに関わる学習を進め、修学旅行が実りあるものになるように取り組んできました。知見を広げたり学習内容を検証したりするだけではなく、これまで身につけてきた集団の力や個の力を発揮する機会でもあります。その力に磨きをかけ、一回りも二回りも大きな成長を遂げてくれると信じています。42人の仲間と共に一生の思い出になるような素晴らしい3日間を過ごして、充実感あふれる顔で帰校してくれることを願っています。

《しっかり者です 1年生／》

1年生は、校長が入学式で話したことをしっかり覚えていてくれています。1年生の目には「校長先生」＝「あいさつ」と見えているのでしょうか。私を見かけると気持ちのいい声で「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と挨拶をしてくれています。そんな1年生の挨拶を受けると、顔もほころび嬉しくなってしまいます。1年生は、挨拶名人です！

そのほかにも、私は毎日、校舎内を巡っています。その際、必ず目をやるのがトイレのスリッパです。整然と並べられている割合が一番高いのが1Fのトイレです。1Fのトイレは主に1年生が使います。そんな様子から、1年生は落ち着いた行動ができ、整理整頓の習慣が身についているのではないかと感じます。素晴らしい1年生に心から拍手です！

【こんな様子よりも・・・】



【こうなっていると】



【次の人を使いやすくなります。】

私たちの意見で今年の児童会活動が決まりました！



15日(木)に第1回児童総会が開かれました。今年度の児童会のテーマに、「一致団結！スマイル満開飯野小」を掲げ、「あいさつ」「掃除」「時間」「約束」「絆」に視点を当て、全校児童が過ごしやすく素晴らしい飯野小学校になるように活動を展開していきます。中心となって進める児童会本部役員の皆さんには、初めての経験で緊張気味でしたが、その重みを感じながらしっかりと意見を受け止め、よりよい飯野小学校にしようとする姿に感動を覚えました。自分たちの手で創り上げていこうとする飯野小児童会に、大きな期待を寄せています。

みんなの気持ちを一つにしよう！頑張れ いいのっ子！

～ 何事にも 一生懸命にがんばってます～

進級して1か月半が過ぎました。児童の様子を見ると、新しい環境に慣れ、あちこちで元気な声が響きわたっています。それぞれの学年で、様々な活動を通して目指すところを感じ取って生活していることが窺われます。学年目標に記されているように、それぞれの学年で目指す児童像があります。それは、意識していくなくても学校



生活を過ごしている際に、上級学年の様子を見ていて肌で感じ取っているはずです。5年生は6年生を、4年生は5年生を、3年生は4年生を・・・といったように、1年後の姿を予想して見ているはず。それまでに必要な力を身につけられるように、少しずつ一つ一つのことに自分事として取り組んでおかなければなりません。

学習においても同様のことが言えると思います。その学年学年で学ぶべきことを着実に習得して積み重ねていくことで、次の学年に

生かされます。それを疎かにしてしまうと、自分が困ることになってしまいます。昨今、GIGAスクール構想によりICT活用が進み、学習活動の様子も様変わりしてきました。また、小集団での学習、自由進度学習といった学習形態も取り入れられるようになってきました。学校では、未来を生き抜くために必要な力を児童一人一人が身につけられるよう、より効果的な方法で学習が進められるようにしていきます。



どうぞ、ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をいただけるようお願い申し上げます。



« 豆知識 » “聞く”？ それとも “聴く”？

よく日本語は世界の言語の中でも、習得が大変難しい言語だと言われています。(私などは、どこの国の言語も難しく感じているのですが…。)「文字の種類の多さ」「文法の複雑さ」「語彙の豊富さ」「オノマトペの豊富さ」が、その難しさの要因だそうです。最近では、若者言葉も耳にするようになり、私などは「えっ？」となってしまうこともあります。「正しい日本語で言って～。」なんて言うのは老害でしょうか？(「老害」なんて言葉も数年前まではなかった言葉ですよね。)

数年前から、研究会の資料の中で“聴く”という表記を多く目にするようになりました。これまでには、“聞く”だったのですが…。その違いを調べてみると、「『聞く』は、音や言葉を耳で感知することを指し、日常的な会話や情報収集などの場面で使われます。一方、『聴く』は、注意深く耳を傾けて音や言葉、内容を理解しようとする態度を表します。」とありました。一般的には「聞く」を使っていても間違いはないですが、意図をもって表記するときは、そのように使うのだそうです。大切な話に耳を傾けるときは、“聴く”ようにしていかなければなりません。

飯野っ子は、授業でも集会でも話を“聴く”ことが身についているはずです！ (^^♪

【校長の独り言…】

前号で「最近、何をするにも億劫で…。」ということを載せたところ、先日、2年生の女の子から、「(学校だより) 読んだよ。校長先生なんだから、そうなってちゃダメじゃん。しっかりしなきゃ！」と叱咤激励されました。きっと、お家の方も同意見だったのだろうと思います。私を応援してくれるありがたい言葉だと感謝しています。それを糧にして、易きに流れないよう、立場を自覚して尻に鞭打ちながら、公私ともに取り組んでまいります。

話は変わります。最近、ネットニュースで「これ読めますか?」という難読漢字や難読熟語についての見出しを目にします。今では漢字検定もあって、その問題集もあるようです。それを受けたことはありませんが、子供のころは、漢字をよく練習していて自信があったので、そのサイトをひらいてみると…。
結果は、読めませんでした(+o+)

これ、読めますか？「御御御付」 ※「御」にはいろいろな読み方がありますよね。